

横浜市立若葉台中学校 PTA  
 運営委員会便り 第 64 号  
 令和 5 年 12 月吉日 発行  
 発行人 PTA 会長 荒 篤史  
 編集人 PTA 書記 邊見 彩  
 村上 瑞穂

## ～スマホ 18 の約束～

こんにちは。早いもので2023年が終わろうとしています。その年末年始の冬休みも、これからの生活もぜひぜひ楽しいものであってほしいという気持ちで、PTA から若中生の皆さんにお便りします。

さて、皆さんはいくつ当てはまりますか？



実は・・・ 皆さんだけではなく、私たち親も大人も同じことが当てはまるものです。

そこで、2013 年 1 月に東京新聞に掲載された「スマホ 18 の約束」という記事をご紹介します。アメリカで 13 歳の息子のクリスマスプレゼントに iPhone を送った母の、厳しくも愛にあふれた契約書「18 の約束」は、掲載当時いろいろなテレビ番組にも取り上げられ、話題になりました。

<p>母親が13歳の息子に示した契約 (一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この電話は私が買ったものです</li> <li>学校には持って行けません。面と向かって会話してください</li> <li>人を罵ったり、バカにしたりにするためにこの機械を使用してはいけません。だれかを傷つけるような会話にも加わってはいけません</li> <li>面と向かって話せないような内容をメールしてはいけません</li> <li>ポルノは禁止。もし、なにが知りたいことがあれば、私かババに聞きなさい</li> <li>公共の場では電話は切りなさい。特にレストランや映画館</li> <li>大量の写真やビデオを撮らないで。自分自身の体験を大切に。そうした記憶は永遠に残るものよ</li> <li>ゲームは言葉合わせ、パズル、脳トレ系を</li> <li>散歩に行きなさい。見知らぬ人に話しかけなさい。グーグル検索なしで、自分で思い悩んで</li> <li>あなたは守れないでしょう。その時は電話を取り上げる。そして二人で話し合い、やり直しましょう</li> </ul>	<p>息子へ</p> <h1>スマホ 18の約束</h1> <p>THE MOM CONTRACT        iPhone をプレゼントするにあたって        契約を結んだシャネル・ホフマンさんと        長男のグレゴリー君 - 米ABCテレビから</p>
--	--

驚くことに 10 年たった今でも、困ること・伝えたいことはほとんど変わりません。

何よりも大切なのは、自らの目で見、聞き、感じること。。

私たちも子どもたちに人気のアプリなどを「やめなさい」「わからない」と片づけず、その良し悪しを判断するためにも、挑戦してみる必要があるのかもしれないね。

この休みには、14番を試してみませんか？

「スマホ 18 の約束」は最後このように締めくくられています。

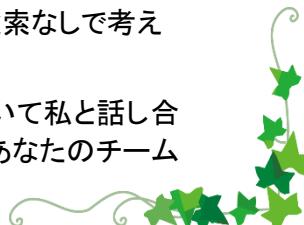
『 この条件を合意してくれることを願っているよ。ここにリストしてあるほとんどの条件は人生をうまく生きるための条件にも当てはまるものだから。あなたは常に激変していく世の中で成長しています。とてもエキサイティングで気を引く体験だと思う。できるだけシンプルに物事を考えて行ってください。どんな機械やガジェット(小さく珍しい道具)よりも自分のパワフルな考え方と大きな心を信じてください。

あなたが大好きなのよ。あなたの素晴らしい iPhone を楽しんでね。 母より。』



グレゴリーへ、

メリークリスマス！あなたは今日から iPhone の所有権を持つことができます。やったね！責任感のあるお利口な13歳なので、このプレゼントはあなたに相応しい。しかし、このプレゼントと受領すると同時にルールや規則が付いてきます。以下の使用契約をじっくり読んでください。以下の規則を守ることができなかった場合、あなたの iPhone 所有権も無くなります。

1. これは私の携帯です。私がいきました。月々の支払いも私がします。あなたに貸しているものです。私ってやさしいでしょ？
  2. パスワードはかならず私に報告すること。
  3. これは「電話」です、鳴ったら必ず出ること。礼儀正しく「こんにちは」と言いなさい。発信者が「ママ」か「パパ」だったら必ず出ること。絶対に。
  4. 学校がある日は 7:30pm に携帯を私に返却します。週末は 9:00pm に返却します。携帯は次の朝の 7:30am まで電源オフになります。友達の親が直接出る固定電話に電話出来ないような相手ならその人には電話も SMS もしないこと。自分の直感を信じて、他の家族も尊重しなさい。
  5. iPhone はあなたと一緒に学校には行けません。SMS をする子とは直接お話しなさい。人生のスキルです。注: 半日登校、修学旅行や学校外活動は各自検討します。
  6. 万が一トイレや床に落としたり、無くしたり、破損させた場合はの修理費用は自己負担です。家の芝生を刈ったり、ベビーシッターをしたり、お小遣いでカバーしてください。こういうことは起こります、準備しててください。
  7. このテクノロジーを使って嘘をついたり、人を馬鹿にしたりしないこと。人を傷つけるような会話に参加しないこと。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。
  8. 人に面と向かって言えないようなことをこの携帯を使って SMS やメールでしないこと。
  9. 友達の親の前で言えないようなことを SMS やメールでしないこと。自己規制してください。
  10. ポルノ禁止。私とシェアできるような情報をウェブで検索してください。質問などがあれば誰かに聞きなさい。なるべく私かお父さんに聞いてね。
  11. 公共の場では消すなり、サイレントモードにすること。特にレストラン、映画館や他の人間と話す時はそうしてください。あなたは失礼なことをしない子です、iPhone がそれを変えてはいけません。
  12. 他の人にあなたの大事な所の写真を送ったり、貰ったりしてはいけません。笑わないで。あなたの高知能でもそういうことがしたくなる時期がやってきます。インターネットはあなたより巨大で強いよ。これほどの規模のものを消すのは難しいし、風評を消すのも尚更難しい。
  13. 写真やビデオを膨大に撮らないこと。すべてを収録する必要はありません。人生経験を肌身で体験してください。すべてはあなたの記憶に収録されます。
  14. ときどき家に携帯を置いて出かけてください。そしてその選択に自信を持ってください。携帯は生きものじゃないし、あなたの一部でもありません。携帯なしで生活することを覚えてください。
  15. 新しい音楽、クラシック音楽、あるいは全員が聞いている音楽とは違う音楽をダウンロードしてください。あなたの世代は史上もっとも音楽にアクセスできる世代なのよ。あなたの視野を広げてください。
  16. ときどきワードゲームやパズルや知能ゲームで遊んでください。
  17. 上を向いて歩いてください。あなたの周りの世界を良く見てください。窓から外を覗いてください。鳥の鳴き声を聞いてください。知らない人と会話をもってみてください。グーグル検索なしで考えてみてください。
  18. あなたは失敗する。そのときはこの携帯をあなたから奪います。その失敗について私と話し合います。また一からスタートします。あなたと私はいつも何かを学んでいる。私はあなたのチームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。
- 

# ～夏まつりお手伝い～

7月 若葉台小学校 PTA 役員と若葉台中学校 PTA の会合の時に地域コーディネーターの瀬戸さんより「夏まつりなどの若葉台の行事に若い力を貸してもらえると助かる」というお話があり、急遽右のポスターを作成して学校から保護者に配信していただきました。今回は、急なことで夏休み前に皆さんへのお知らせが間に合わず、限られた人数でしたが、お手伝いに参加し、地域の方に大変よろこんでいただけたのでご紹介します。

中学生の若い力がとても助かるそうなので、是非 来年の夏まつりや他の地域行事に参加してみてください！

**夏まつり**  
お父さん  
中・高生大歓迎!!  
夏まつりの  
おてつだい募集中!!

若葉台夏まつりに向けて、お手伝いして下さる方を募集しています!  
3年ぶりの若葉台夏まつり開催ということで多くの人々が集まり、一緒に楽しむ素晴らしい機会ですが、人手が足りず困っています。

①子どもと一緒に盛り上げよう!  
子どもみこし練り歩き補助

日時: 7月29日(土)10時～12時頃(終了次第解散)  
集合場所: わかばの広場(石の広場)のステージ前  
持ち物: 飲み物、熱中症対策グッズ

③7/29(土) 8:30～10:00頃  
本部テント設営等

④7/30(日) 8:00～11:00  
撤去、清掃

お手伝いしても良いよ!  
という方はこちらにご連絡下さい。  
よろしくお願致します。

②7/28(土) 9:00～11:30  
ご来校、顔合わせ  
説明等

⑤7/28(土) 8:00～11:30  
ご来校、説明等  
可也!

お問い合わせ先  
tel: 045-459-6044  
mail: ketan@sumoto.jp

地域学校コーディネーター  
元(初代)おやじの会代表  
磯本 桂太郎さんより

後援: 若葉台小学校PTA  
若葉台中学校PTA

## 前日準備



明日のための材料運びや提灯台の設置などを手伝いました。  
部活帰りに中3男子5名も来てくれました。  
ご褒美は電気屋さん特製かき氷! しかもシロップかけ放題～♪

## 当日準備



おやじの会のお父さんと中3男子2名がお手伝いに参加してくれました。  
会場中央のやぐら作りの材料運びやテントを立てたり、テーブルを広げたり…  
暑い中 大変な作業でした。お手伝いが大勢いたら本当に助かる作業です。



若中生徒の皆さんと共に若小の「おやじの会」から応援に来てくれた方々に支えられた夏まつりでした。  
来年度には若中でもお役に立てる(仮称)おやじの会を発足させたいと検討中です。

地域学校コーディネーター  
元(初代)おやじの会代表  
磯本 桂太郎さんより



当日みこし練り歩き中の給水お手伝い



こんなに若葉台に人が集まるんだ！という大混雑の中で、水分補給のお手伝い。  
中3女子4名もお手伝いに加わってくれました。



夏まつり翌日も朝から片付けがありました。たたんでもたたんでも減らないテント、テーブル、イス…。暑さで倒れそうです。これを用意して、片付けてくださる地域の方々のおかげで楽しい夏まつりができることを改めて知りました。

この夏まつりや地域行事を楽しんで大きくなった皆さん！ 出番ですよ！

